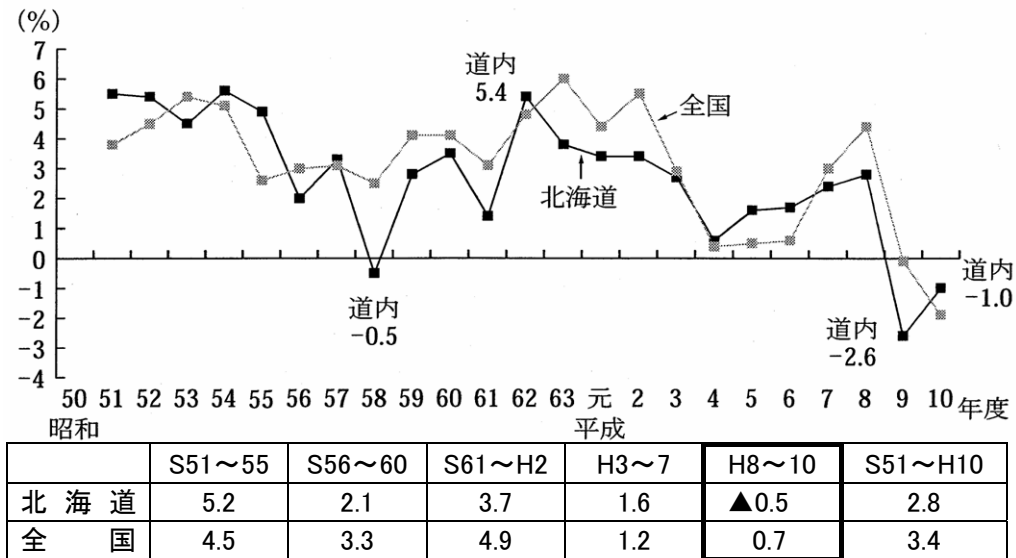


# I. 北海道を取り巻く環境

## (1) 経済・財政

### ① 全国に対し低い経済成長率

過去3年間の平均経済成長率は、全国が0.7%であるのに対し、本道は-0.5%となっており、近年の北海道の経済成長は全国平均よりも低くなっています。

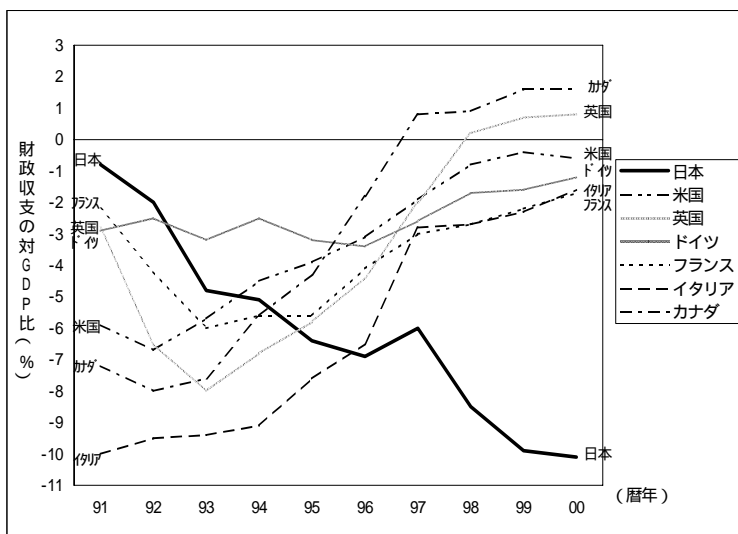


(実質経済成長率5年度ごとの平均)

出典:H12 北海道経済白書をもとに作成

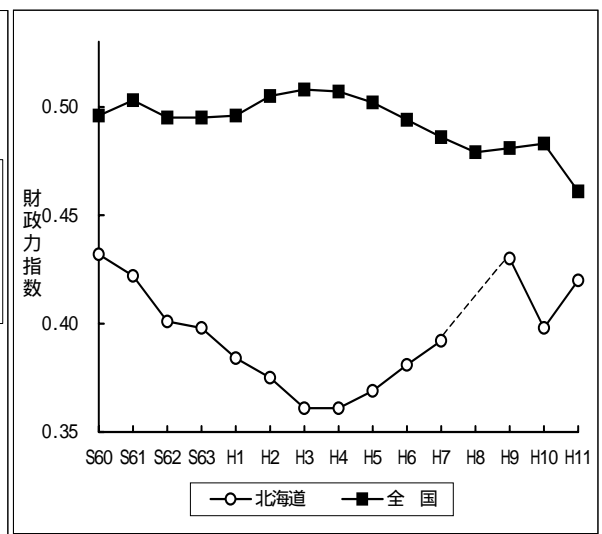
### ② 財政状況の悪化（国、地方自治体）

我が国の財政事情は、1990年代に入って急速に悪化し、現在では主要先進国の中でも最悪の状況に至っています。また、道内各市町村の財政力は全国平均を下回っており、厳しい財政状況にあります。



主要先進国及び日本の財政状況の比較

出典:財務省資料をもとに作成



市町村の財政力指数の比較

出典:全国(財務省資料をもとに作成)

北海道(北海道総合企画部資料をもとに作成)

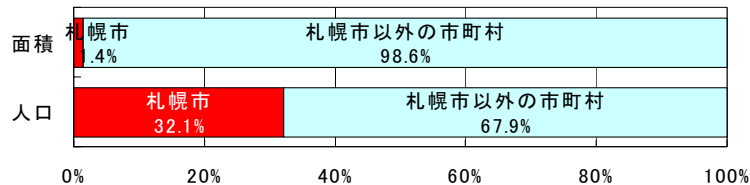
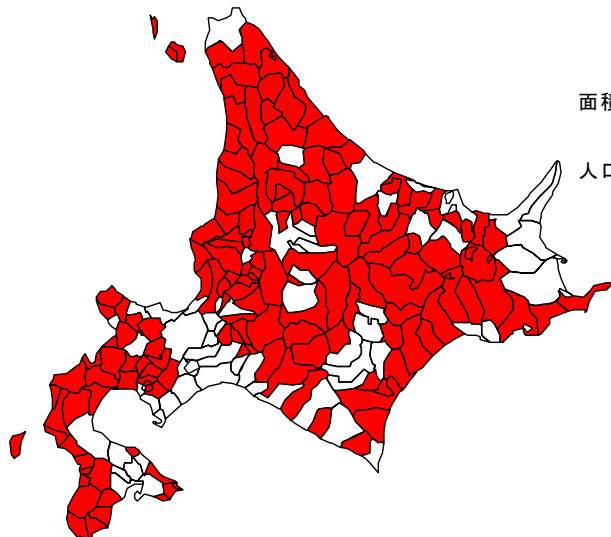
#### 【用語メモ】

財政力指数：自治体の財政力を判断する指標で、基準財政収入額を基準財政需要額で除したものの数値が高い自治体ほど財政力が高い

## (2) 地域・人口

### ① 札幌への一極集中と152市町村の過疎指定

北海道の人口は3割が札幌に集中し、全212市町村のうち71.7%にあたる152市町村が過疎地域の指定を受けています。札幌への一極集中が進み、地方では過疎化が進行しています。



#### 道内面積、人口割合

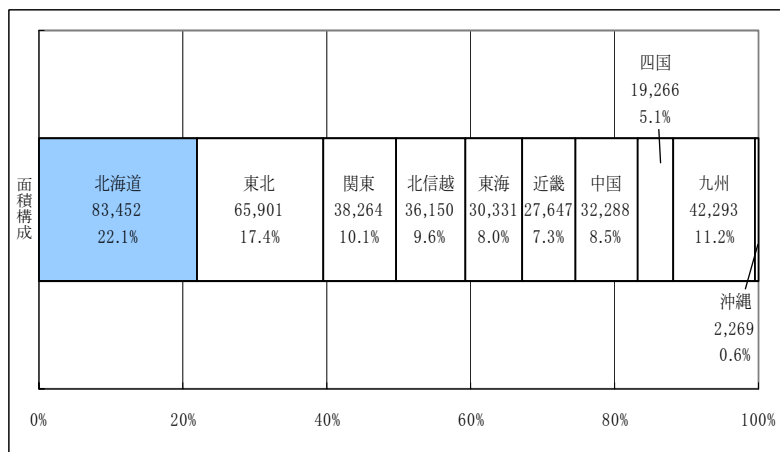
出典: 全国都道府市区町村別面積調(国土地理院)H11年、  
国勢調査速報値(総務庁)H12をもとに作成

#### 過疎地域自立促進特別措置法に基づく過疎地域指定状況

出典: H12 北海道総合企画部資料をもとに作成

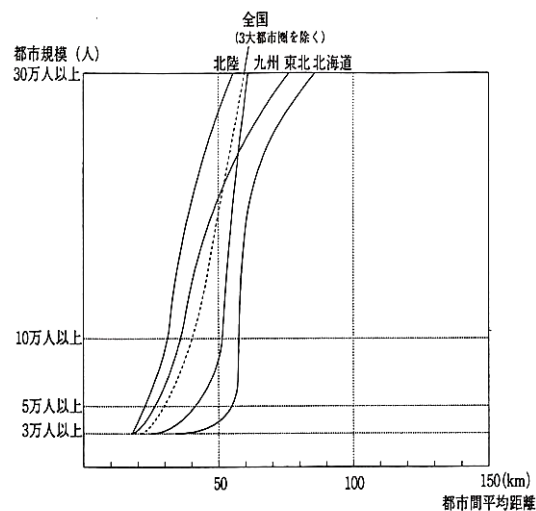
### ② 広大な面積と地域分散型社会

北海道は、我が国の面積の22%を占め、広大な国土を有しているとともに、都市間距離が全国の約2倍に及ぶ広域分散型となっています。



#### 全国に占める北海道の面積

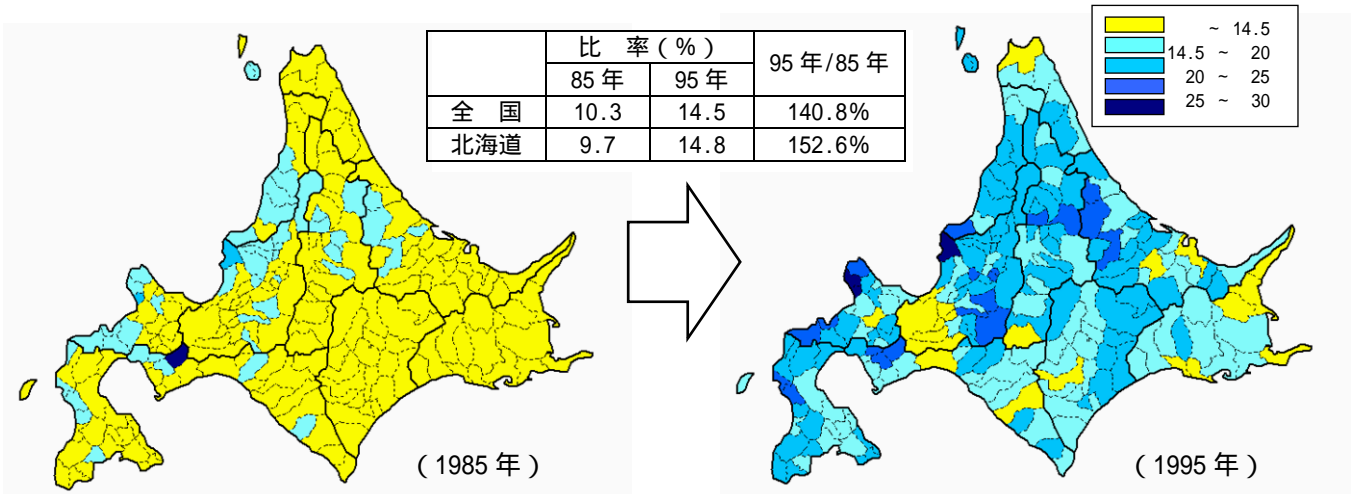
出典: 北海道統計書をもとに作成



#### 都市間距離(1万人未満の市町村から)

### ③ 全国よりも高い高齢者人口比率

北海道の65歳以上の人口比率は、1995年には全国値を上回るようになり、急速な高齢化が進んでいます。



65歳以上の人口比率

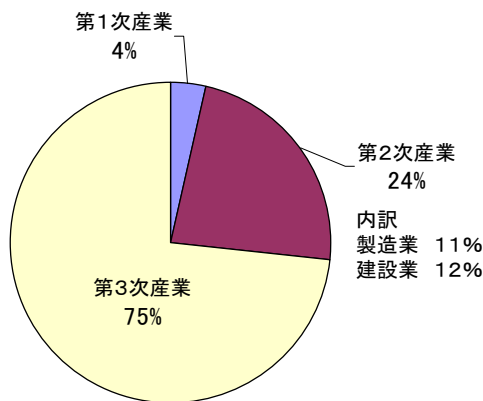
出典:総務庁 国勢調査資料をもとに作成

### (3) 産業

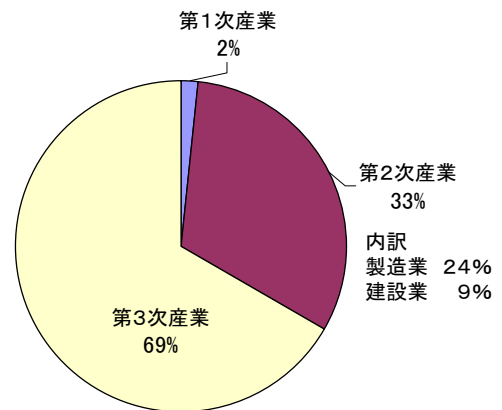
#### ① 1次・3次産業割合の高さと2次産業割合の低さ

北海道の産業構造は、全国と比較して第1次、3次産業の占める割合が高く、第2次産業（特に製造業）の割合が低くなっています。

道内総生産(19兆7500億円)



国内総生産(498兆5000億円)



全国は暦年。構成比については帰属子等を含むので、合計が100%とならない。  
 第1次産業:農林水産業  
 第2次産業:鉱業、製造業、建設業  
 第3次産業:電気・ガス・水道業、卸売・小売業、金融・保険業、不動産業、運輸・通信業、政府サービス、民間非営利サービス

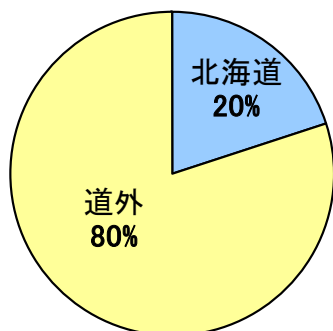
産業別総生産(名目)平成10年(1998)年度

出典:H10 道民経済計算年報(北海道)をもとに作成

## ② 全国に占める割合の高い、農業、水産業、製紙業

北海道は、全国の食糧生産量の20%、漁獲量の29%、生乳生産量の43%、新聞用紙生産量の45%を占めています。農業・水産業・製紙業については、全国に占める割合が高くなっています。

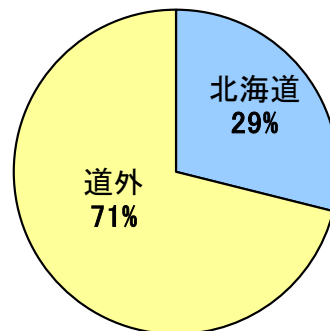
食料生産量



道外	834kcal
北海道	209kcal
全国	1,043kcal

出典:全国 H12 食料需給表(農林水産省)  
北海道 北海道農政部資料をもとに作成

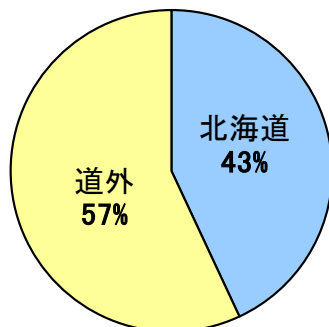
漁獲量



道外	3,728,518 トン
北海道	1,511,253 トン
全国	5,239,771 トン

出典:H11 漁業・養殖業生産量をもとに作成  
(農林水産省統計情報部)

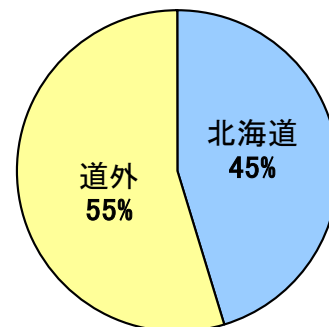
生乳生産量



道外	4,825,971 トン
北海道	3,633,723 トン
全国	8,459,694 トン

出典:H11 生乳乳製品統計をもとに作成  
(農林水産省情報統計部)

新聞用紙生産量



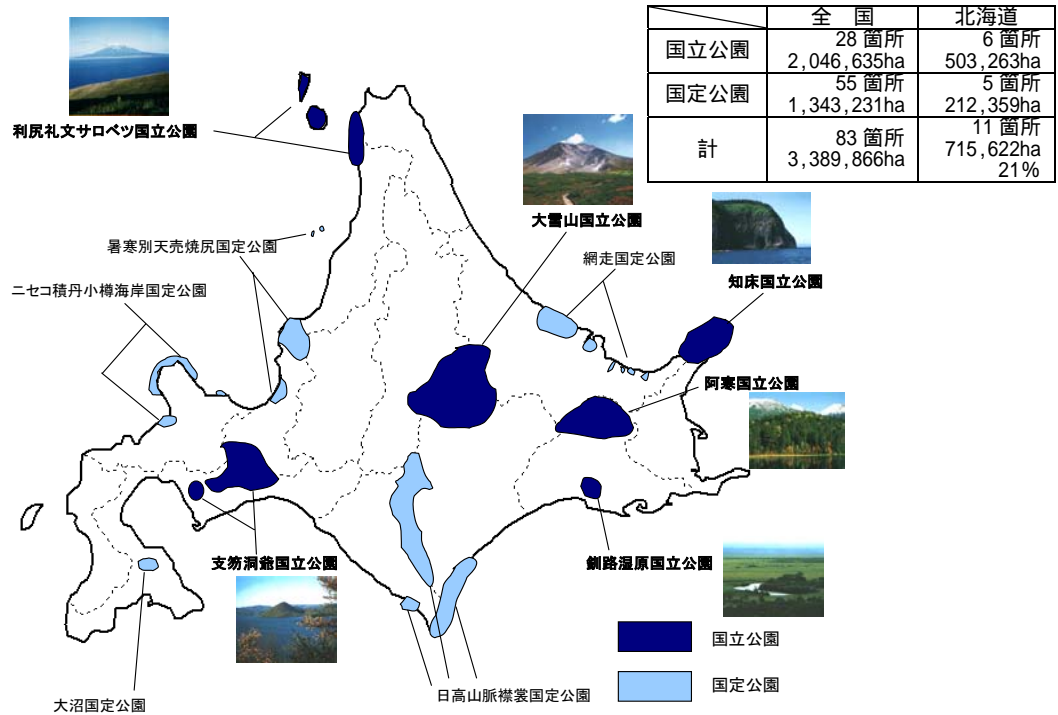
道外	1,875,329 トン
北海道	1,543,401 トン
全国	3,418,730 トン

出典:H12 紙・パルプ統計年報をもとに作成  
(経済産業省調査統計部)

## (4) 自然・災害

### ① 全国に占める割合の高い国立・国定公園の面積

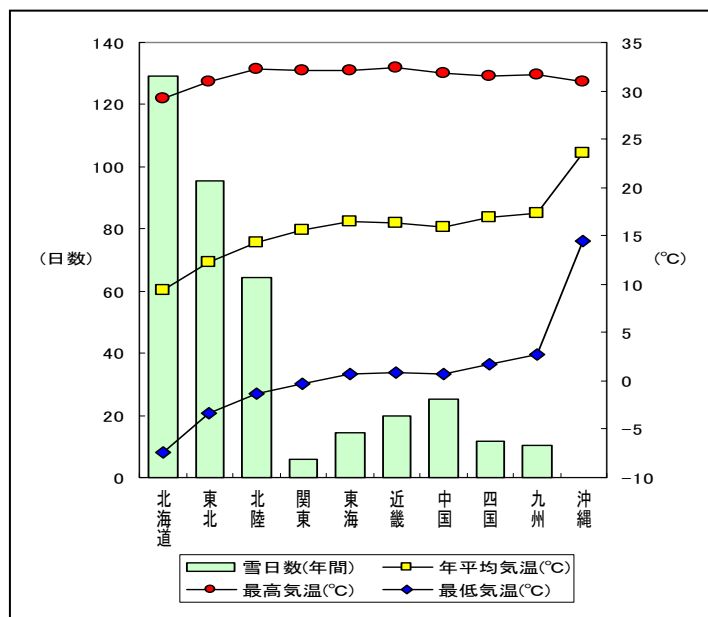
北海道は6つの国立公園と5つの国定公園があり、その広さは全国の2割強と高い割合を占めています。



自然公園等の指定状況 平成11年度末  
出典:北海道環境白書2000(北海道)をもとに作成

### ② 厳しい気象条件

北海道は寒冷地であるとともに、4ヶ月以上雪の影響を受けるなど厳しい気象条件となっています。

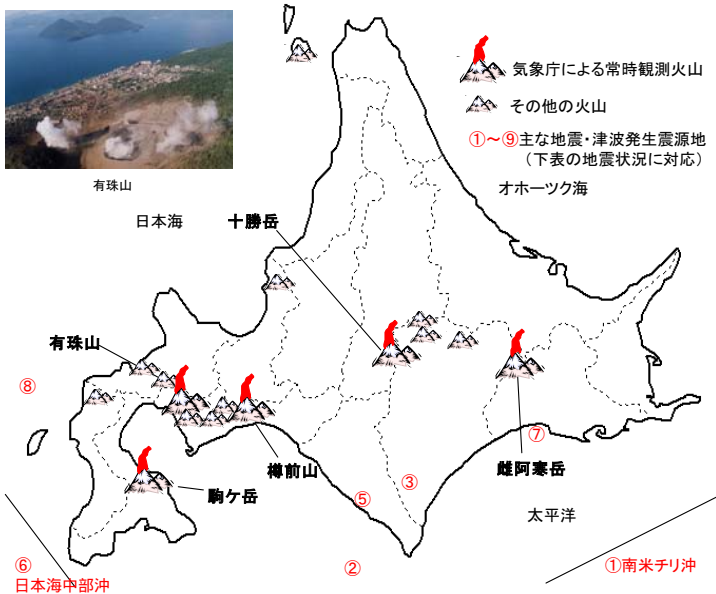


※最高気温(日最高気温の月平均の最高値)  
※最低気温(日最低気温の月平均の最低値)

北海道と全国の気象状況(1999年)  
出典:総務省 統計局資料をもとに作成

### ③ 大きな被害を伴う災害の多発

北海道には15の活火山があり、その内5箇所が常時観測火山となっています。また、本道では過去に火山噴火・地震・津波といった大きな被害を伴う災害が多発しています。



火山、地震・津波の状況 平成11年度末  
出典：国土統計要覧 平成12年度版(国土庁)、  
地震調査推進本部資料をもとに作成

#### 北海道の主な火山災害（昭和1年以降）

年・月	山名	形態
昭和1年5月	十勝岳	爆発
昭和4年6月	駒ヶ岳	噴火
昭和18～20年	有珠山	噴火
昭和37年6月	十勝岳	爆発
昭和52～53年	有珠山	噴火
昭和63～平成1年	十勝岳	噴火
平成12年3月	有珠山	噴火

#### 北海道に被害を及ぼした主な地震・津波（昭和35年以降）

年・月	名称	M
昭和35年5月	チリ地震津波	-
昭和43年5月	十勝沖地震	7.9
昭和45年1月	北海道南部地震	6.7
昭和48年6月	根室半島沖地震	7.4
昭和57年3月	浦河沖地震	7.1
昭和58年5月	日本海中部地震	7.7
平成5年1月	釧路沖地震	7.8
平成5年7月	北海道南西沖地震	7.8
平成6年10月	北海道東方沖地震	8.1

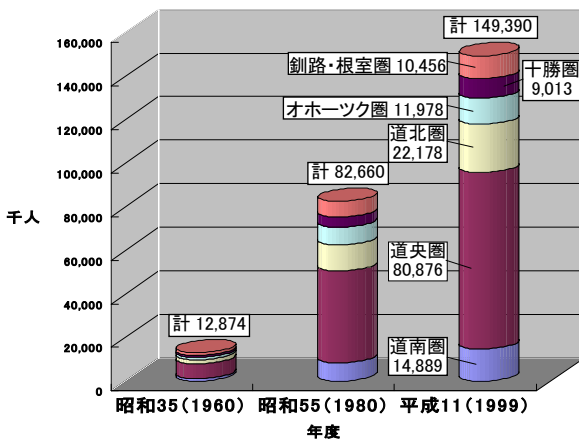
：津波による被害が発生した地震

出典：地震調査推進本部資料をもとに作成

## (5) 交流

### ① 観光入込み客数の増加

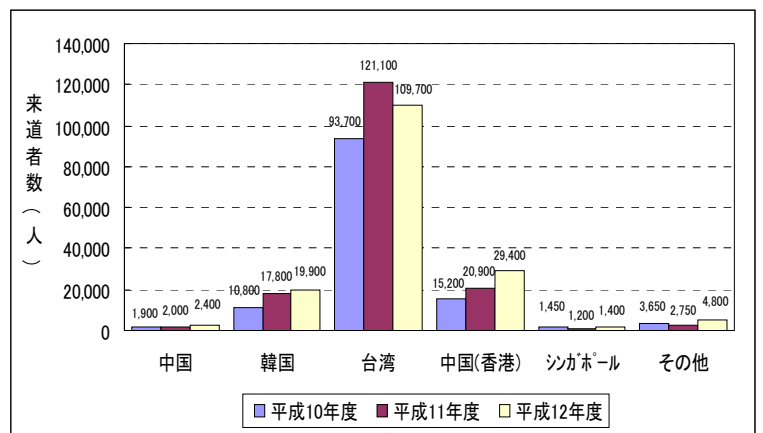
北海道を訪れる観光客は、この40年間で各圏域ともに大幅に増加しています。



■道南圏 ■道央圏 ■道北圏 ■オホーツク圏 ■十勝圏 ■釧路・根室圏

#### 道内観光客の推移

出典：北海道観光入込客数調査報告書  
昭和35・55年度、平成11年度版をもとに作成  
(北海道経済部観光局)



#### アジアからの来道者数状況

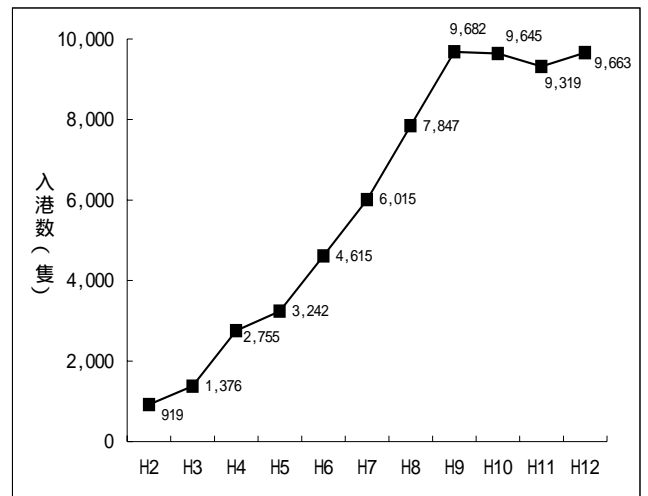
出典：北海道観光入込客数調査報告書  
平成11・12年度版をもとに作成  
(北海道経済部観光局)

## ② 地理的に近い北東アジアとの人や物の交流の活発化

北海道は地理的に北東アジア地域と近接しています。また、北海道港湾へのロシア船舶の入港数や日・ロフェリーにおける乗降人員と貨物量は増加傾向にあります。このように地理的に近い北東アジアとの交流が活発化してきています。

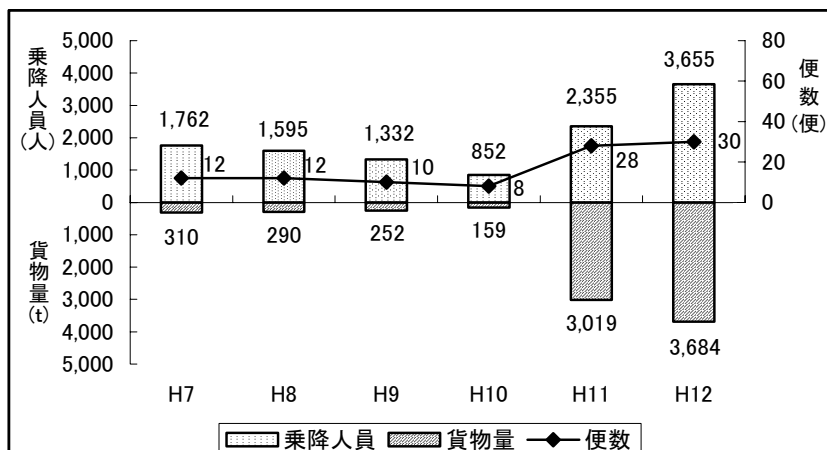


北海道と北東アジアの位置関係

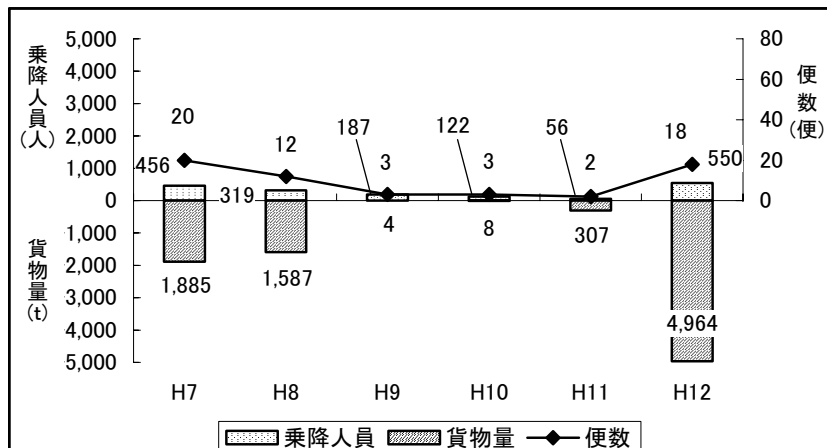


北海道に寄港するロシア船舶の入港実績

### 稚内航路



### 小樽航路



日本～ロシア間のフェリー利用実績

### 【用語メモ】

北東アジア地域：このビジョンではロシア極東地域、中国東北三省、モンゴル、北朝鮮、韓国、日本の6地域を指す